



「いい会社をつくりましょう」(DVD)を見て

これは長野県伊那市にある伊奈食品工業の紹介ビデオである。タイトルは「年輪経営」。

どういうことかと言うと、急成長は望まず、着実に1年1年成長していくと。それはまさしく年輪のごとく。

TVの健康番組で寒天が良いと報じられ、スーパーの棚が空になったとき「これは一時のブーム」と調子に乗っての生産アップを戒めたという。

案の定、ブームは去り生産増強した会社は在庫の山を抱えるに至ったと。

加えて増産によるしわ寄せは従業員がかぶる場合が多い。「忙がし貧乏」は避けたい。

また、社員の駐車場進入は左側から左折で入る。右側から入ると、公道の他車の渋滞の原因になると・・・しかも駐車場は奥から埋まっていく。



なるべく近くに止めてが人間の心理だろうに。実はこれらはすべて従業員が自主的に考えたことで何も会社が指示したわけでもない。

年輪経営による従業員第一の実現

会社の理念はまず「従業員第一」が貫かれている。タクシーに乗り行先を告げると即座に「あの会社は良いですよ」と問わずとも返ってくるという。

多分、伊那食品(かんでんぱぱ)には従業員募集はないのかもしれない。入社待機組が列をなしている感じがする。

今世間では労務問題(長時間労働)が問題化している。学校を卒業し入社後3年以内に退社する人が3割に達すると聞く。仕事の進めかた、残業対策、コミュニケーション、評価、配転・・・あらゆる点を根本的に組みなおす時期にきたようだ。

短兵急な解決は禍根を残す。

ご紹介



「映像本 いい会社をつくりましょう」

塚越寛・大久保 寛司(著)

文屋(出版)

＝宇久田会計AMT研究室＝

*宇久田会計 AMT 研究室では、主に所得税・相続税について勉強しています。

医療費控除の特例

★自主服薬推進のためのスイッチ OTC 薬控除の創設
★29年1月1日～はじまっています。

セルフメディケーション税制

適切な健康管理の下で医療用医薬品からの代替を進める観点から、健康の維持増進及び疾病の予防への取組として**一定の取組(※1)**を行う個人が、平成29年1月1日から平成33年12月31日までの間に、自己又は自己と生計を一にする配偶者その他の親族に係る**一定のスイッチOTC医薬品(※2)**の購入の対価を支払った場合において、その年中に支払ったその対価の額の合計額が**1万2千円を超えるときは**、その超える部分の金額(その金額が8万8千円を超える場合には、8万8千円)について、その年分の**総所得金額等から控除**する。

(※1)一定の取組みとは…特定健康診査、予防接種、定期健康診断、健康診査、がん検診
取組みの証明…**健康診断を受けていることの証明書提出・提示が必要です。**

提出証明書類には①～③の記載が必要です。

①氏名 ②取組み年月 ③事業者を行う保険者、事業者若しくは市町村の名称又は診察を行った医療機関の名称若しくは医師氏名

例)インフルエンザ予防接種…領収証を提出、市町村のがん検診…領収証又は結果通知書

勤務先健康診断…結果通知表(「定期健康診断」「特定健康診断」の記載があること)

★取組証明方法についてのフローチャート、勤務先から証明書を発行する場合の書式など…
厚生労働省HPに詳しく記載されています。 >>>

(※2)スイッチOTC医薬品とは…要指導医薬品及び一般用医薬品
のうち、医療用から転用された医薬品

(類似の医療用医薬品が医療保険給付の対象外のものを除く。)



◆スイッチOTC医薬品の薬って?? 薬局へ行ってみましたところ…



← 商品棚の値札に◆型マーク記載
レシートにも◆型マーク記載

※お店によって表示の仕方など異なりますので、
店員さんへ必ずご確認ください。

← スイッチOTC医薬品一覧表のパンフレット
を頂けるお店もあります。
店員さんへご確認ください。

◆本特例の適用を受ける場合には、現行の医療費控除の適用を受けることができません。
従来の医療費控除か上記セルフメディケーションの特例か、どちらかの選択となります。

(AMT 研究室:野村敦子・志村智江・雨谷博美)

国税のクレジットカード納付ができるようになりました

平成 29 年 1 月 4 日から、国税のクレジットカード納付が始まりました。

クレジットカード納付とは、インターネット上でクレジットカード支払の機能を利用して、国税庁長官が指定した納付受託者(トヨタファイナンス株式会社)へ、国税の納付の立替払いを委託することにより国税を納付する手続きです。今回はこのクレジットカード納付について、その手順や特徴などをご紹介します。

■クレジットカード納税に必要なもの

クレジットカード納付を行うためには、下記の 2 点を用意しておきます。

- ①納付を行う国税の申告書や税務署から送付される各種通知書など納付する税目や金額などがわかるもの。
- ②クレジットカード(Visa, Mastercard, JCB, American Express, Diners Club, TS CUBIC CARD)

■クレジットカード納税の手順

納税に必要な資料、クレジットカードの用意が出来たら、インターネットから「国税クレジットカードお支払いサイト(<https://kokuzei.noufu.jp>)」へアクセスし、次の手順で納付を行います。

- ①利用規約の確認
- ②クレジットカード納付を行う税金の情報を入力
- ③利用するクレジットカードの情報を入力
- ④内容の確認、納付手続きの確定
- ⑤クレジットカード決済(各カード会社の規定に基づき引き落とし)



■クレジットカード納税の手順

メリット

- ・インターネットから24時間納税を行える。
- ・引き落とし時期の先送りや、分割払いができる。カードのポイントが貯まる(カード会社との規定によります) 等

デメリット

- ・決済手数料がかかる(納税額1万円ごとに税抜き 76 円)
- ・税目ごとに手続きが必要で、かつ納税額 1,000 万円以上の税目はカード納税非対応。 等



以上、今後の納税方法の選択肢の一つとしてご検討くださいませ。

(松下)

今月の格言

くもん うち じぼうじき 苦悶の中に自暴自棄せず

この格言は、人勢の苦難に直面したときの心構えを述べたものです。困難に直面すると、つい悲観したり自暴自棄に陥ってしまいがちです。しかし、困難を正面から受け止め、自己の品性を向上させる絶好の機会と考え、感謝しながら前向きな態度で努力することで、道は開かれていきます。**さわやか土曜塾**では最高道徳の格言を学んでおります。皆様のご参加をお待ちしております。

** 3 月のさわやか土曜塾 **

日時 : 3 月 11 日(土) 10:00~11:30

場所 : 辻堂図書館 会議室

会費 : 500 円

詳細は雨谷・志村(智江)まで

読書の時間



勝ち続けるチームをつくる 勝負強さの脳科学

林成之著 朝日新聞出版

今月ご紹介する本は・・・「勝ちつづけるチームをつくる 勝負強さの脳科学」脳神経外科医 林成之著 です。

去年の週末は三男が所属する少年野球チームへ毎週のように応援へ行っておりまして。勝った日負けた日ありましたが、子供達が真剣にそして懸命に試合へ挑んでいる姿には本当にこちらもエネルギーをもらえます。

感動も沢山もらえるけれど、やはり勝負の世界です。結果は勝ちか負けしかなく息子を見ていて思ったのが、強豪チームに負けた日の疲労度がすごいということ・・・スポーツをやる上でこんなに気持ちのバランスに浮き沈みがあって良いのだろうか・・・？そんな疑問からこの本を手に入れました。

ずっとドーパミンが出続け緊張状態でいられる人は存在しない。「心・技・体」が連携しあい「同期発火」という神経活動によって心・技・体の能力が発揮される。個の力とともに組織力を高めるためにはどうしたら良いか？などの内容が脳科学の視点から詳しく書かれていて、何とも人間の気力を高めてくれるような本でした。

個の力を高めるだけでなく、仲間からもたくさんのエネルギーを貰えている事にも気づかされる本でした。

(雨谷)



*** **

修学旅行 資金づくりに新聞配達

伝統的に修学旅行資金づくりに子供たちが新聞配達をしていると。

何と素晴らしい教育と感心するとともに感謝した。もう何十年と続いていると聞くとなおさら、どこの地方だったか？記していなかったのを悔いる。

集落の家で子供の配達を待つ老夫婦、「ありがとね」「おばあちゃん元気？」まだ暗い朝、吐く息白く会話が弾む。

兄弟すべてこの新聞配達経験者だという家族、なんとほほえましいあたたかい家族、ましてこの教育効果たるやはかりしれないと思う。

編集後記

新聞配達をしている子供たち。気になって調べてみると、山梨県南アルプス市・芦安地区で60年以上続いている取り組みでした。現在は9人の学生たちが、65世帯に毎日新聞を配達しているそうです。

元々この取り組みは「修学旅行の資金づくり」のために始まったのではなく「山間地の民家のために新聞配達員を確保できない」という課題の解決がきっかけになっているとのこと。

新聞を配達する中学生(売り手)、受け取る購読者(買い手)、人材確保の問題を抱える地域(世間)、それぞれが利益を得る「三方よし」の精神が、伝統の継承を後押ししているのではないのでしょうか。

(松下)



発行・編集 宇久田進治税理士事務所/株経営センターグロウ

〒251-0042 藤沢市辻堂新町 1-1-2 クロスポイント湘南 6F

TEL 0466(36)0627 FAX 0466(33)4892

URL : <http://www.ukuta.net/>

**編集部では皆様に喜んでいただける紙面にしたいと思っております。お読みになったご感想、お読みになりたい記事等のご意見をお聞かせくだされば幸いです。

(e-mail : matsushita@ukuta.net 又は上記 FAX でお願いいたします。)